



9/7 Hirado City Photo News
奥ひらどをめぐる1日旅行



南部地区の各まちづくり運営協議会と南部公民館の共催で、「奥ひらどスタンプラリーバスツアー」が開催されました。事前に申し込みがあった17人の参加者は、午後1時に南部公民館を出発し、浄隆寺(上中津良町)、淀姫神社(猪渡谷町)、絶景ポイント(猪渡谷町)、カトリック大佐志教会(大佐志町)、高松神社(早福町)、長泉寺(前津吉町)、阿弥陀寺(野子町)、八十八か所様、志々伎漁協、福田酒造など、南部地区の名所・旧跡を周り素晴らしい景観や奥深い歴史を満喫しました。

8/31 Hirado City Photo News
国姓爺の学びを皮切りに開講



たびら活性化施設で、ひらど市民大学開講式が開催されました。
さまざまな分野の専門家を講師として、「普段学ぶことができないことを学べる」環境をつくり、「平戸を担う人材づくり」を目指して平成30年度から開催され、今年も全7回の講義が予定されています。
開講式では、昨年度までの修了者へ修了証が授与され、開講式後には、学長である黒田市長を講師として、「国姓爺合戦ブームの時代背景」のテーマで第1回講義が行われました。

8/23~26 Hirado City Photo News
サッカーで築く、韓国との絆



サッカーを通じて、国際交流や友好の輪を広げるために、韓国慶尚南道南海郡・宝島南海スポーツクラブの小学生など35人が平戸市を訪れ、市内のサッカークラブに所属する小学生や家族と交流しました。期間中は、参加した小学生の家にホームステイするなどして、平戸市内観光施設の見学や、V・ファーレン長崎の試合観戦、佐世保、北松代表チームも参加した交流試合も行われました。
この交流は6年ぶりに開催され、参加した平戸市の小学生は、来年韓国で交流する予定です。

8/21 Hirado City Photo News
楽しい英語の学びをサポート



生きた英語に慣れ親しませながら、児童生徒の英語力向上を図るため平戸市に赴任した外国語指導助手(ALT)が、市長室を訪れました。
着任したのは、カナダ出身のレイラ・チョン・ムイ・チョンさん(写真左※中野・根獅子・紐差小学校、中部中学校担当)と、オーストラリア出身のニコラス・コレスさん(写真右※田平北小学校、度島小中学校担当)。2人は、学校での英語の指導や、イングリッシュキャンプなどの他、各国の文化を伝え児童生徒の異文化理解を図る活動にも従事します。

9/14 Hirado City Photo News
スポーツで海をキレイに



千里ヶ浜海水浴場でスポGOMI甲子園2024長崎県大会が開催され、長崎県内の高校生14組42人が参加しました。
スポGOMIは、3人1組のチームで制限時間内にゴミを拾い、重量などをポイント換算し順位を競う地球にやさしいスポーツです。
今回の大会ではタバコやペットボトル、ロープなど、45分間で合計126.43キログラムのゴミを拾いました。優勝は31.63キログラムのゴミを拾った佐世保工業高校の「Beautifulers」チームでした。

9/7~8 Hirado City Photo News
灯台のもとで安らぎのひととき



生月の大バエ鼻灯台で、「灯台ナイトカフェ」が開催され、2日間で延べ約300人が来場しました。
GPSの普及で役目を終えた灯台を、観光資源として活用する、日本財団海と灯台プロジェクトの「灯台からのメッセージ運営委員会」と、生月でキャンプ場「Sun Sea」を運営する株式会社ガッタライが共同で開催。
夕焼けの時間から夜更けまで、岩礁を照らす灯台の灯かりのもと、キッチンカーが提供するグルメなどを楽しむ安らぎのひとときとなりました。

8/28 Hirado City Photo News
応援歌で平戸海関にエール!!



平戸市未来創造館で、市民有志が制作した大相撲平戸海関応援歌「勇気いちばん平戸海」の発表会が開催されました。この応援歌は文筆家の福田章さんが作詞・作曲し、内野茂樹さん、大塚ヘルシーサークルの大塚ケイ子さん、ミュージシャンの松崎京さんの協力を得て制作。発表会では歌手の衛藤ときさんが迫力の歌声で応援歌を披露しました。
平戸海関の母、坂口美香さんは「皆様の応援が力になっています。今後も応援よろしくお願ひします」と話し、会場は大きな拍手で盛り上がりました。

7/23~8/27 Hirado City Photo News
楽しく手話を学ぶ



未来創造館で毎週1回活動している平戸手話サークルの皆さんが手話教室を開催し、小学生や防災士、介護士など、6回で延べ39人が参加しました。
この手話教室は、子どもから大人まで誰でも聴覚障がいのある人とコミュニケーションを取れるように、夏休み期間中に開催され、日常会話や手話で歌を歌うなど、楽しく手話を学びました。
参加した小学生は「手話を話す人が身近にいて、習いたいと思い参加しました。教室以外でも手話を勉強し、会話できるようになりたい」と話しました。